



International Institute of Multi-Cultural Studies

特定非営利活動法人

国際比較文化研究所

■ Newsletter ■

Vol. 20 No.2 2019年 7月

2019年度総会報告とご挨拶

明日に向けて

5月25日(土)午前中に定例理事会、そして午後に年度総会を開催しました。通常、総会の主な議題は過年度の事業と会計の報告と新年度の事業計画及び予算が中心になります。

今年度はそれに加えて定款の改訂が有りました。新たに会長を置き、理事長と共に研究所の運営を担う事になります。ただしこの改定と人事は群馬県の認証を受けた後で正式になりますので、実際には約3か月後になりますが、総会では理事長に太田琢雄が会長に太田敬雄が選出されました。

法的には実際の就任は9月頃になりますが、研究所内では実務的に新しい役割を踏まえて活動をして参ります。つきましては、ここに会長ならびに理事長が明日に向けて一言ご挨拶申し上げます。

「ご挨拶 感謝を込めて」

世紀の変わり目だった2000年に国際比較文化研究所を立ち上げ、6月に群馬県の認証を受けました。20年目となる今年、令和元年に理事長を辞し、会長に選任されました。

NPO 設立以前、学校の教師経験しか無かった私ですが、何とかこれまで理事長として過ごして来られたのはひとえに会員の皆様のお支えのお蔭と感謝の念に堪えません。今後は会長として理事長をサポートしながら、また所長として多文化交流関連の諸行事を支えながら、国際比較文化研究所のさらなる発展のために、平和な地球社会の実現という夢を抱き続けて参りたいと存じます。

今後とも研究所に皆様の変わらぬお支えを賜りますようお願い申し上げます。

太田敬雄

「ご挨拶 新理事長として」

このたび国際比較文化研究所理事長を拝命致しました太田琢雄です。

私は太田敬雄の息子です。「教育者としての父の姿を間近で見れるのはきっとこれが最後の機会」と研究所に身を置き早10年、皆様に多大なお力添えを頂き、たくさんの経験をさせていただきました。理事長の立場で何ができるのか…未だ不安ばかりですが、受けた恩・重みある歴史に活動で応えるのがNPOの在り方！設立理念である世界平和への願いと「みんなちがってみんないい」の精神で、志を共にし研究所を支えて下さる皆様と共に、この活動を繋いでいきたいと思っています。

未熟な理事長ではありますが、何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

太田琢雄

鷲の宮卓話

どちらを向いて何を見るか

研究所長 太田敬雄

馬やウサギのような草食動物の目は横や後ろから迫りくる敵を見やすいように横についているとのこと。クジラの目などは、右と左の目がそれぞれ全く異なる方向を見るように出来ています。常に周りを視野に入れて、敵に備えるのに適しているのがこのような動物の目だそうです。

それに比べて、肉食哺乳類の目は前方の獲物を追うのに適していて、前に付いています。人間の目も肉食哺乳類と同じで前の獲物を追いやさうになっているのだそうです。

この事が、私たちの物の考え方や行動パターンにも大きな影響を与えているようです。一つの事を「理解」すると、その周辺や裏側を意識することが難しいと思われれます。ある事を「困ったこと」と把握すると、ひたすらその困った事を無くそうとするばかりで、違う方向を見て考えることができにくいのです。その結果、自分に見えていることを「正義」と判断すると、その「正義」に固執して、他の人に見えている「正義」は「間違い」と断定してしまう傾向があります。

例えば「少子化は問題だ」と判断すると、ひたすら子供が増えることだけを考え、現在の社会を維持することだけを考えるようになります。「少子化」は地球社会に取って、また地球上の生命バランスにとって良い事だと考えて見ると、対応の仕方は変わってしまうはずで、日本は「少子化先進国」として、世界をリードしていくべき立場にあるなどと言う考えは荒唐無稽にしか思えなくなります。

話しは変わりますが、NHKの「チコちゃんに叱られる！」で虹を見る方法が紹介されました。「雨の中で太陽が見えたら太陽に向かって走れ。そして雨を抜けたとき振り返ればそこに虹が見えるだろう。」太陽の方を見ている限り、どんなに綺麗な虹が鮮やかに出ていても見えるものではありません。振り返った時にはじめてその虹が見えるのです。

草食動物の目を持っていけば、太陽と虹の両方を視野に入れることも出来るのですが、私たちにはそれができそうに有りません。

昔、かかるとに目が付いていると言われた力士がいました。訓練の結果、土俵際まで後退してもこらえる事が出来たのです。私たちも訓練して見えない所を感じ取り、そこに思いを馳せつつ生きていきたいものです。

活動報告：オムニバス講座

5月18日から6月29日にかけて6回にわたって前期のオムニバス講座を開催しました。毎回テーマも講師も異なり、スーダン、テレビドラマ、パラリンピック、コンニャク作り、そして教育については2回と多彩な講師を囲んで延べ60名以上の方々と楽しい交流の時を持つことが出来ました。

秋には20年目の研究所を意識してオムニバス講座を開催したいと準備を始めています。

これからの活動予定：夏は多文化交流のラッシュアワー！

学生や子ども達が参加する多文化交流プログラムは長期休暇に集中します。① 8月1日から8月9日にかけて実施する「家族多文化交流 in Malang, 2019」には日本から7組の家族、計17名の小中学生とその親が参加します。② 続いて、8月10日から12日は「多文化交流 in ぐんま 2019 夏」。35名の留学生と日本人学生が安中市の学習の森に集合して交流します。その準備に県内5大学の学生達がスタッフとして企画・運営にあたっています。③ 「ぐんま」が終わると「多文化交流 in 韓国プサン 2019」。8月21日から27日。釜山外大の日本語サークル「のびのび」のメンバーが準備を進めています。今年は日本側のスタッフも含めて19名が参加します。④ 9月に入ると「親子多文化交流 in 安中 2019」インドネシアのBrawijaya Smart Schoolの小中学生16名と先生方4名を通訳ボランティアの学生やホストファミリーなどの協力を得て9月5日から9日に実施します。



公式ウェブサイト・スタートしました！

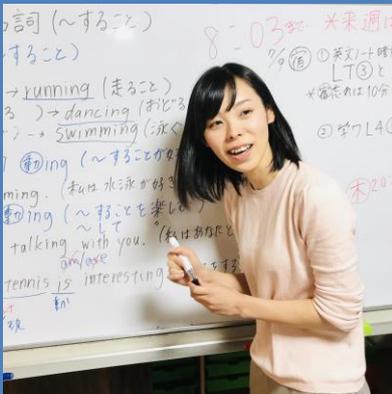
<http://manapal.jp>

Instagramと Facebook もフォローしてね♪

Instagram➡ <https://www.instagram.com/manapal.jp>
Facebook➡ <https://www.facebook.com/manapalsince2009>



2019のまなぱるも、とっても元気に活動中です♪



「ワンコイン寄付」

☆クレジットカードにて毎月 500 円の寄付(自動引き落とし)も選択可能になりました。何人もの方がご利用下さっています。

「一度にまとまった額の振込みは大変だけど、月 500 円なら…」そんな気持ちでご検討いただけたら嬉しいです！(自動引き落としは、いつでも停止可能です。)

☆会費や一般のご寄付もカード振込が可能です。ぜひご利用ください。

会費のお支払い・ご寄付は「クレジットカード」または「郵便振替」にて受け付けております。

【クレジットカード決済の手続きはコチラ】



左記 QR コード、もしくは下記 URL からアクセスして頂き手続き・ご登録ください。
アクセス先のページから「会費の支払い」と「ご寄付」に分かれていますので、それぞれのページへ進んで頂き、手続きをお願い致します。

(<http://www8.wind.ne.jp/mthc/iims-cardannai>)

【郵便振替はコチラ】

下記口座まで直接お振込み下さい。

●加入者名：国際比較文化研究所

●口座番号：(普通) 00510-0-61974

※ゆうちょ銀行から振込可能な口座です。

※通信欄に「会費」または「寄付」とご記入ください。

会費・寄付<敬称略・順不同> (5/1~6/15)、カード振込 (4/26~6/30)

会費並びにご寄付を有難うございます。国際比較文化研究所は今後とも「平和な地球社会の実現」に向けての諸活動に邁進して参ります。

<新入会員>高山佳葉、

<会費>福田則行、藤本恵大、根岸大輔、梶山拓弥、増井杏奈、横井宏行、宇佐美若奈、中村紫乃、岩丸愛、大谷雄一、片岡謙、鈴木武仁、高山佳葉、Candy、高山昇、丸山裕太、青葉由香 ('18, '19)、内田穂積、森泉節子、青木洋子、佐藤貴雄、松山幸生、森泉孝行、植原 efa 映子、関口澄、小林慎樹、中易圭子、小川美幸、小林久子、川口知幸、太田琢雄、金井美由紀、金井優希、幸田一彦、野口紀子、野口泰佳、狩野真由美、関千景、恩幣宏美、伊藤成、小井戸登志子、太田敬雄、堀越美津子、ファン翠、小坂景子、木村隆、太田玲子、上田暢子、森泉寿義雄、板垣剛、高尾善樹、西佳名子 (菅谷)、

<寄付>内野春香 (×3)、藤本恵大 (×3)、宇佐美若奈 (×3)、片岡謙 (×3)、青木洋子、n 松香光夫、黒滝明美、入澤京子、森泉節子、久保正幸、山村日出夫、村井田和夫、関千景、植原 efa 映子 (まなばる)、中易圭子、野村誠 (誌代・送料)、小林久子、川口知幸、太田琢雄、狩野真由美、伊藤成、金井美由紀、幸田一彦、福田則行、野口紀子、太田敬雄、小井戸登志子、堀越美津子、太田玲子、上田暢子、板垣剛 (まなばる)、西佳名子、

編集後記：

2019 年度 Newsletter 第 2 号をお届けします。
創立 20 周年目を迎えて、変えてはならないのは何か、変わるべきことは何かを真剣に考えなくてはならない時が来ています。「大切なことは多くは無い」と言いますが、その大切なことを見誤らないように心掛けなくてはなりません。
間もなく「多文化交流」の夏が始まります。(T)

発行 特定非営利活動法人国際比較文化研究所

事務所：〒379-0124 群馬県安中市鷲宮 3413-3

電話：027-382-5998 FAX：027-382-6393

研究所ホームページ：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>

メールアドレス：totatakaao.iims@gmail.com

まなばる：<http://manapal.gunmablog.net/e80854.html>

メールアドレス：mail@manapal.jp

郵便振替口座番号：00510-1-61974